

to不定詞 副詞的用法	① We use computers to do many things. (私たちはたくさんのことをするためにコンピューターを使います。)
① 不定詞の副詞的用法「…するために」⇒【to+動詞の原形】 「するために」という動作の目的を表すためには、上の形を使う。 主語が何であっても、過去の文でもtoの後ろの動詞は必ず原形になる。 この不定詞の用法を副詞的用法という。 to以下が動詞を修飾するとイメージするとよい。	
We use computers to do many things. 私たちはたくさんのことをするためにコンピューターを使います。 ①の説明を参考にする。	
We use computers to work, to learn, and to communicate. 私たちは仕事をするために、学ぶために、そして意思の疎通をするためにコンピューターを使います。 to work, to learn, to communicateは全てuseの目的を表している。	
The progress of AI is changing our lives. AIの進歩は私たちの生活を変えています。 is+動詞のingで進行形になっている。また、livesは名詞lifeの複数形で動詞liveの三人称単数形と間違えないように注意する。	
Some jobs will disappear, and new ones will appear. いくつかの仕事は姿を消し、そして新しい仕事が見えるでしょう。 oneは前に出てきた名詞の代わりに使う。単数ならone、複数形ならonesで受ける。	
How should we face the age of AI? 私たちはAIの時代にどのように向き合うべきなのでしょう？ shouldは「…すべき」という意味の助動詞。faceは動詞で「直面する」という意味。	
① 私たちはたくさんのことをするためにコンピューターを使います。	
② 私たちは仕事をするために、学ぶために、そして意思の疎通をするためにコンピューターを使います。	
③ AIの進歩は私たちの生活を変えています。	
④ いくつかの仕事は姿を消し、そして新しい仕事が見えるでしょう。	
⑤ 私たちはAIの時代にどのように向き合うべきなのでしょう？	